

マーケットレポート



S&Pがブラジル国債を格下げ

2018年1月11日、スタンダード・アンド・プアーズ(以下、S&P)は、ブラジルの自国通貨建長期債務格付および外貨建長期債務格付を、「BB」から「BB-」へそれぞれ1段階引き下げました。格付見通しは「ステーブル(安定的)」としました。

◆ 格下げの背景

今回の格下げの理由は以下の通りです。

- ①年金改革法案採決の遅れなどから財政再建の進捗が思わしくないことや、GDP(国内総生産)対比の債務比率が高まっていること
- ②汚職事件や経済の縮小から与党への不信感が増し、2018年の大統領選挙に多数の候補者が乱立する見込みとなるなど、政策の不確実性が増していること

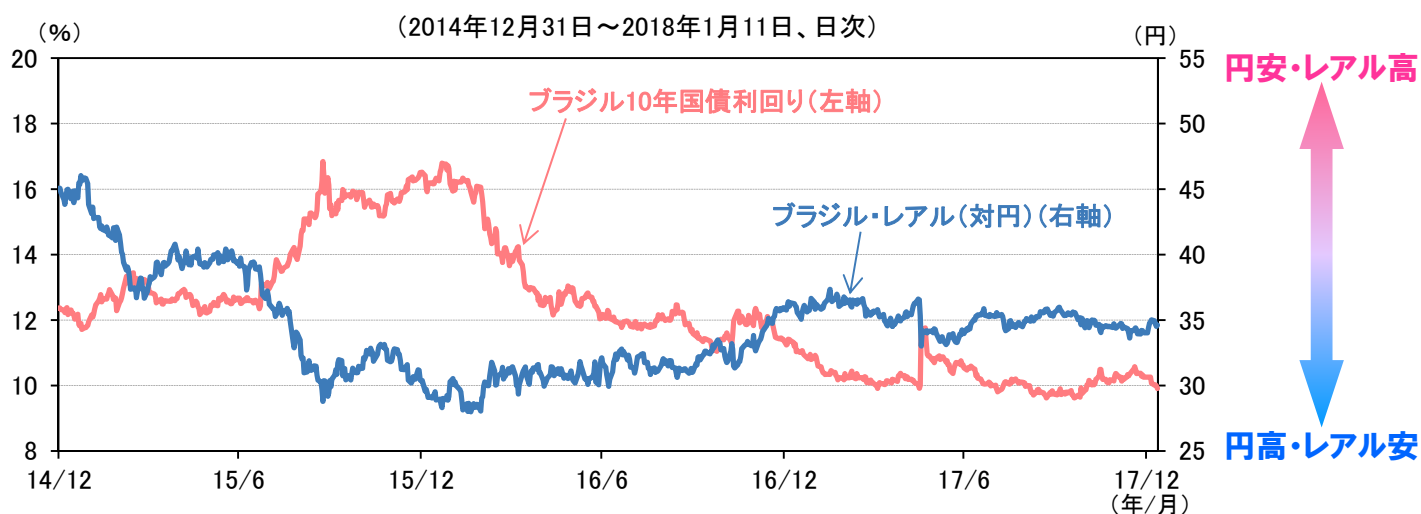
◆ 今後の見通し

S&Pは、ブラジルの経済成長の鈍さや政策の不確実性などを指摘している一方で、対外債務水準の低さや金融政策を評価している点から、見通しを「ステーブル(安定的)」としており、当面は格付の据え置きが予想されます。

ブラジルの長期債務格付(2018年1月11日現在)

	自国通貨建	外貨建	見通し	格付変更日
S&P	BB-	BB-	ステーブル(安定的)	2018年1月11日
(参考)ムーディーズ	Ba2	Ba2	ネガティブ(弱含み)	2016年2月24日

<ブラジル10年国債利回りとブラジル・リアル(対円)の推移>



(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。